

今年3月、住宅版エコポイントの申請受付がスタートしました。  
 エコ住宅を考えているなら、煩雑な申請などの面でも、経験のある  
 建築家と一緒に家づくりを進めたいものです。  
 「長期優良住宅」「エコ住宅」などを広く手がけ活躍する建築家、  
 中道哲也さんにお話をうかがいました。

## 言葉に踊らされないで、住もう人が 必要とするものを追求した家づくりを。



### 中道 哲也さん

1963年御坊市生まれ。1989年建築設計事務所設立。  
 1992年、共同でデザイン事務所設立。  
 2003年デザインオフィス・スタジオパートスリー設立。

住宅にもエコポイントがつくようになりましたね。でも、みなさんエコって言う言葉に振り回されているような気がします。例えば補助金が出るからと太陽光発電にしているだけでなく、ほんとに温暖化対策に協力したいんだという気持ちがないと…。

政府が言うCO<sub>2</sub>の25%削減って、難しい数字ですが、そういうことを真剣に考えている人、和歌山の空気を汚したくないんやっていう人が、本当のエコですよ。

エコポイントはいいいと思いますよ。建築家としても恩恵を受けます(笑)。でもね、最大30万ポイント(≒30万円)付くのですが、例えば、40坪の家で、LOWEガラス、断熱ガラスを採用し、断熱材の密度を上げて、といった条件をクリアするには、まず50万ポイント

分以上は費用がかかります。言葉に踊らされるんじゃなく、本当に地球温暖化対策に協力しようという気持ちがないとなかなかできません。

結局エコポイントにしばられると、建築家としても、自由さがなくなるんですね。エコって、ゴミを出さないとか、エアコンの温度を1℃上げるとか、そのあたりからですよ。そんな積み重ねができた上で、エコに向かっているのかなきゃ。将来的なことまで含めて考えないと意味がないですね。

隣の人がどう思ったっていいんです。住まう人が満足する住まいでないと、どこに価値を見出すかですよ。つまり、何がエコなのか、自分にとってどうなのか、自分の価値観をつきつめていけば、エコの形も見えてくるのでは。



エコポイントだ、申請の締め切りだと、とにかく振り回されてあせってしまうことが危険です。

まずライフスタイルです。住まう人に本当に必要なものを考えたら、それが自然とエコにつながってくるんじゃないでしょうか。

建築家にしても、住まう人が何をしたいのか、何が必要なのかをしっかりとつきつめて家を作らなきゃいけない。そうやって和歌山で個性ある家づくりをしているところというのが、僕の考えでもあり、「建てようネット※」の考えでもあるんですね。

エコポイント、もらうもよし、もらわないでもよし。何にもはばられず、自分らしさを追求していきますましよう。必要なものは、住まう人が暮らしに求めるものだけです。

SPACE・INTERIOR DESIGN・PROJECT PARTIII  
 一級建築事務所  
 デザインオフィス・スタジオパートスリー  
 ☎ 0738-24-3343  
 📍 御坊市島686-1  
 🌐 www.stpt3.com